

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月	直近の更新年月
白馬村	神城地区 (内山・佐野・沢渡・三日市場・堀之内・飯田・飯森)	平成26年3月	令和3年3月

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	297ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	180ha
③地区内における60才以上の農業者の耕作面積の合計	252ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	64ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	1ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	17ha
(備考)	

2 対象地区の課題

多くの農地が担い手に集約されており、今後担い手への依頼が多くなると予想され、担い手の確保、育成が必要となる。
農業用水の安定した確保が必要となる。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

離農や規模縮小する農地の借受、耕作放棄地を解消することで、それぞれプラス1～5ha程度の経営規模を目指す。また、規模拡大により生産性を向上させるとともに、農業機械を更新することにより、作業の効率化や生産費のコストダウンを図る。

各地区ともそれぞれ担い手があり、農地の出し手が地元農業者へ貸付が行われることで農業の維持が行われている。地域に根差した担い手の育成を行う。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

各地区の担い手育成を効果的に支援し、地域に根差した担い手を支援する。

新規・特産化作物の導入方針

米、そば、大豆等の土地利用型作物以外に、りんどう、ほうづき、ブルーベリーなどの園芸作物の生産に取り組む。

また新規高収益作物の開発も検討して行く

鳥獣被害防止対策の取組方針

地域による鳥獣害対策の集落点検マップ(侵入防止柵や檻の設置状況、放置果樹や目撃・被害発生場所等)づくりや捕獲駆除体制の構築等に取り組む。

災害対策への取組方針

水害、寒乾害等の被害防止のための研究に取り組む。